

性に関する指導 新聞 第3号

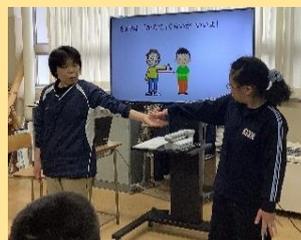
今年度、学校運営ビジョンに掲げている「性に関する指導」に関する学習の様子をご紹介します。

第3号は、小学部と中学部の学習の様子と第2回学校保健委員会で話題になった内容などをご紹介します。

【小学部6年生】「プライベートゾーン」「人との距離」

6年生は、「かくすところ(プライベートゾーン)」と「人との距離」について学習しました。「かくすところ」では、イラストの男の子や女の子に服を着せることで、【自分の胸やおしりなどの水着で隠れる部分や口(くち)】を友達の前で見せない、触らせないこと、【友達の水着で隠れる部分や口】を見ない、触らないことを学習しました。「人との距離」では、教師や友達と【片手の距離】が適切であることを学習し、教師と片手を伸ばした距離を体感しました。どちらの授業でも、クイズ形式で「友達におしりを見せたり、友達の前でズボンの中に手を入れて触ったりすること」「友達の前で話すことは、片手の距離か」と考える活動をしました。

「かくすところ」や「人との距離」については、小学部低学年から繰り返し指導しています。学校だけではなく、ご家庭と連携しながら思春期を迎えている子どもたち自身を守る支援を続けていきたいと思っています。



【中学部1・2・3年生】「健康になろう」

中学部は保健体育で、健康な体を維持するために「体に付いたバイ菌をどうやって無くすか」の学習をしました。今回の授業では特に「手洗い」について、プリントや映像教材を観ながら友達と正しい手洗いについて話し合いをしながら活動しました。授業の最後には、みんなできちんと洗えているか、流し残しは無いかを確かめ合いながら手洗いをしました。

日々色々なことに一生懸命に取り組んでいるからこそ、たくさん使う手にはバイ菌が潜んでいます。そのバイ菌を体内に取り込まないように、こまめに手洗いをするを継続して指導していきたいと思っています。



【第2回 学校保健委員会より】

令和6年2月6日に、学校医 鈴木潤先生、父母と教師の会 副会長様 ご出席のもと、今年度の活動報告や次年度の活動計画について話し合いを行いました。

性に関する指導について、潤先生からは「相手を尊重すること、基本的な人とのかかわり方などが一番大事と考える。家庭での支援も必要であるが、どのように支援していくのか分からないこともある」とご助言をいただきました。

学校と家庭が連携して支援していくことができるように、次年度講演会等を実施していきたいと考えております。

全3号、ご覧いただきありがとうございました。